



取材レポート 第5回

新豊洲ブリリアランニングスタジアム

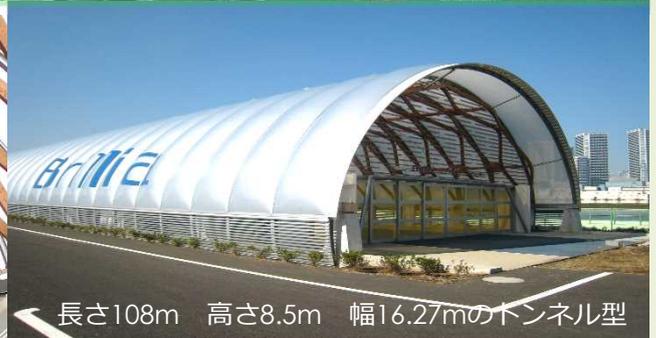
今回は、江東区新豊洲に建設された全天候型ランニングスタジアムに伺ってきました。



オリンピック・パラリンピックに向け、新たな道路や施設など更に開発の進む新豊洲で、異彩を放つスタジアム。



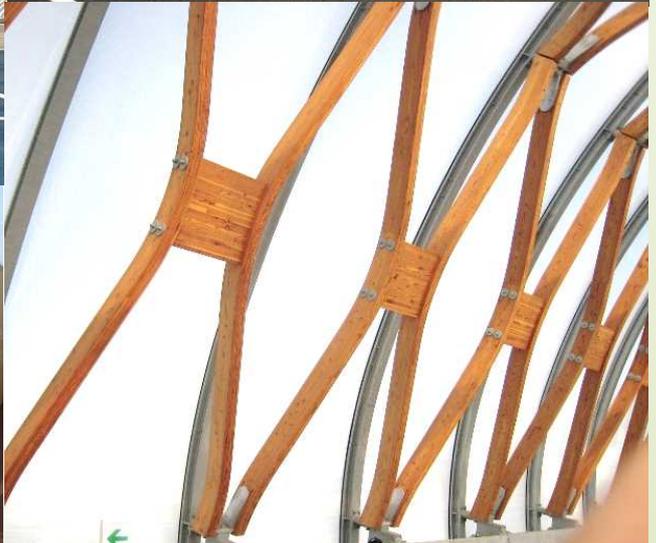
屋根は、軽く透明度の高い高機能フッソ樹脂に覆われ、内部は木のフレームに支えられて明るく快適な全天候型 60m 6レーン の競技用トラック



長さ108m 高さ8.5m 幅16.27mのトンネル型



内部の間仕切りにも集成材が使用されているほか、健常者・障害者を問わず快適に活動できるよう配慮されています。



屋根フレームは長さ5mの長野県産のカラマツ集成材を湾曲させた菱形ユニットを連結させています。

このスタジアムは、障害者アスリートの練習拠点として、また障害者と健常者が共同でアートパフォーマンスをつくり上げる活動拠点として利用されます。南側に位置するメインエントランス付近には、長崎県産ヒノキ、スギを用いたCLTで作られた義足調整室、シャワー室などがあります。
※本施設は、平成27年度サステナブル建築物等先導事業（木造先導型）（国土交通省）を活用して建設されたものです。

【担当】 関東森林管理局 東京事務所 技術指導官（木材供給）